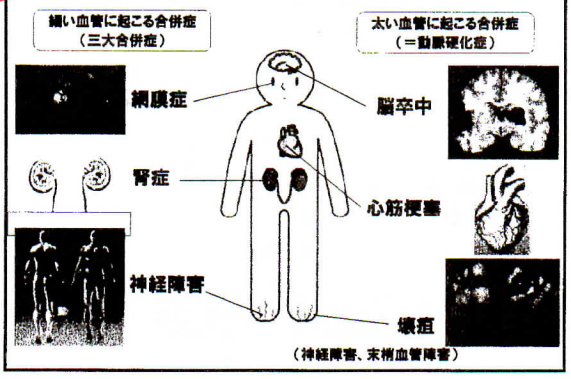
慢性合併症（本当に怖いのは慢性合併症）



慢性合併症の特徴

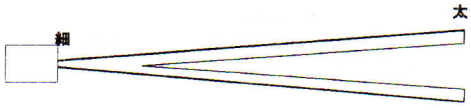
- 糖尿病では動脈硬化が進行する。
- 動脈閉塞による血流障害が臓器傷害を生じる。
- 動脈硬化とは血管の老化現象。
- 糖尿病では血管年齢が10-20年早く進行する。

⇩

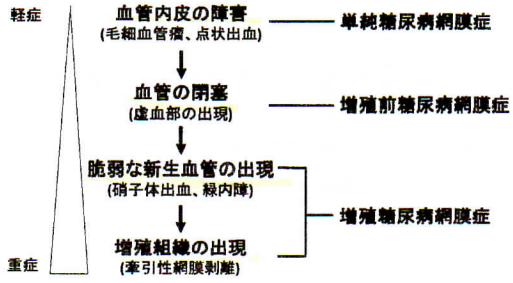
- 一度、発症すると治らない(不可逆性)
- 全身で同時に進行するため、複数の合併症が同時に発病(同時発症)
- 高血圧、高脂血症、加齢などでさらに進行する。

細小血管障害とは？

高血糖
↓
影響は全身の全ての血管に起こる
↓
全ての血管で動脈硬化が同時進行する
↓
全ての血管が徐々に細くなる
↓
細い血管から閉塞してくる



糖尿病性網膜症



糖尿病性網膜症

網膜の細小血管が閉塞すると、虚血部位に新生血管が生じる。
この血管は脆弱なため、硝子体出血を来しやすい。
出血部位には繊維が増殖し、これが縮むことにより網膜が牽

糖尿病性腎症

- 糖尿病発症後、5～10年以上経過した患者にみられる
- 尿中に微量排泄されるアルブミン（微量アルブミン尿）が、腎症の早期発見に最も重要な指標である。
- 現在、透析患者の過半数で糖尿病性腎症が原因であり、新規透析導入患者の原疾患として、１９９８年以来第１位。
- アンギオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬、アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）により進展を予防しうる。